

平成29年度地域密着型金融の推進にかかる取組方針

当金庫地域では中小企業経営者の高齢化進展と共に後継者不足は深刻な状態にある。また、地域経済においてもサービス業や製造業を中心に人手不足の深刻化・円安に伴う輸入価格の高騰化等の影響も懸念され、地域経済の回復基調を持続させていくことは容易ではない状況にあります。

一方、金融面においては、平成25年3月末を以って「中小企業金融円滑化法」は期限が到来いたしました。当金庫はこれまで同様、貸付条件の変更等や円滑な資金供給に努めてまいります。

平成29年度も「つなぐ力」を引き続き発揮しながら、積極的に地域やお客様の課題を解決していくことに努めるとともに、成長戦略も意識しながら、地域の「成長・発展」等に向けて取組み、地域経済に貢献することを目指します。

1. 基本的な考え方

果敢に挑戦していく決意のもと、金庫の独自性・特性をいかしながら、お客様や地域の成長・発展等に資する取組みを推進していくことにより、金庫の存在意義を高めて、地域社会において必要とされる金融機関であり続けることを目指します。

2. 基本方針

「支援力・営業基盤の強化」「経営力・内部態勢の強化」「組織力・人材力の強化」「つなぐ力・総合力の強化」の基本方針を4つの柱として、『地域密着型金融への取組み』を進めてまいります。

(1) 支援力・営業基盤の強化

独自性・特性を活かした取組みを通じて、主体的に地域内の様々な課題を解決していくことにより、頼れる金融機関として、存在感を高めていきます。

(2) 経営力・内部態勢の強化

経営の透明性の向上、経営の健全性の確保、内部管理態勢の整備等を図っていくことにより、安心できる金融機関として、信頼度を高めていきます。

(3) 組織力・人材力の強化

知識・ノウハウ等を共有化することにより人材の育成を図るほか、生き生きと働くことができる組織風土を醸成していくことにより、相談しやすい金融機関を目指します。

(4) つなぐ力・総合力の強化

信用金庫の持つ「つなぐ力」の発揮、業界の総合力の発揮に努めていくことにより、地域との共生を目指す金融機関として、地域との一体感を高めていきます。

3. 地域密着型金融の具体的取組み

(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

- ① 創業・新事業支援
- ② 経営改善支援・事業再生
- ③ 金融円滑化の取組み
- ④ 事業承継

(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

- ① 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み
- ② 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み

(3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

- ① 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面的再生」への取組み
- ② 地域活性化につながる多様なサービスの提供